

移動等円滑化評価会議 中部分科会（令和7年7月29日実施） 自治体、事業者の取組

資料7・8

自治体名	資料名	資料番号
愛知県	ホームドアの設置促進に向けた取組	7-①
愛知県	愛知県障害者差別解消推進条例について	7-①
静岡県	静岡県におけるユニバーサルデザインの推進	7-②
岐阜県	県内鉄道駅のバリアフリー化に向けた取組	7-③
三重県	地域鉄道事業者による障がい者割引 I Cカード導入への支援	7-④
福井県	おもてなしバリアフリー・合理的配慮推進事業	7-⑤
名古屋市	名古屋市のバリアフリーにかかる主な取組み	7-⑥
静岡市	静岡市におけるバリアフリー化事業の取組み（交通分野）	7-⑦
浜松市	浜松ユニバーサルデザインマップ（hamamatsumap.com）について	7-⑧

事業者名	資料名	資料番号
東海旅客鉄道株式会社	鉄道バリアフリー料金制度 届出の概要	8-①
中部国際空港株式会社	中部国際空港におけるユニバーサルデザイン(UD) の取り組みについて	8-②

ホームドアの設置促進に向けた取組

ホームドア設置促進事業費補助金

ホームでの転落・接触事故を防止し、駅利用者の安全性向上を図るため、鉄道事業者が行うホームドアの設置に対して、市町村とともに支援。

- 補助先：市町村
- 補助率：市町村補助額の1/3以内
(ホームドア1列あたり3,000万円上限)

○ 補助実績

駅名・番線	整備期間
J R 金山駅 3・4 番線 (東海道本線ホーム)	2019～2021 年度
J R 名古屋駅 5・6 番線 (東海道本線ホーム)	2022～2024 年度
J R 名古屋駅 7・8 番線 (中央本線ホーム)	2023 年度～
近鉄名古屋駅 2・3 番線	2024 年度～

J R 刈谷駅総合改善事業費補助金

利用者が多く、広域性の高い J R 刈谷駅における利用者の安全確保と利便性向上のため、ホーム拡幅やホームドア設置等の駅総合改良事業に対し、国・刈谷市とともに支援。

- 補助先：刈谷市
- 補助率：市補助額の1/3以内
- 工事期間：2020～2029 年度予定
- 進捗状況：2025 年 5 月に拡幅後の下り線ホームの供用開始。今後、上り線ホーム拡幅・上下線ホームドアの設置工事等を行う

愛知県障害者差別解消推進条例について

＜愛知県福祉局福祉部障害福祉課＞

施行日： 公布の日（平成27年12月22日）

ただし職員対応要領の規定、事業者における障害を理由とする差別の禁止、助言あつせん又は指導等の規定は平成28年4月1日

◆ 制定の目的

障害者差別解消法の趣旨を広く県民に周知し、県民各層の差別の解消推進への気運を高め、県民一体となって、障害を理由とする差別の解消の推進を図る

◆ 県の主な取組

- ① 相談及び紛争の防止等のための体制の整備
- ② 障害者差別解消支援地域協議会の設置
地域の関係機関等による協議会を組織し、必要な情報の交換、相談事例を踏まえた差別解消のための取組に関する協議を実施
- ③ 啓発活動
障害を理由とする差別の解消について県民の関心と理解を深めるため、啓発活動を実施
- ④ 助言、あつせん※又は指導等 ※法ではあつせんの規定なし
不当な差別的取扱いを受け、又は合理的配慮がなされなかった障害のある人等からの求めにより、知事が事業者への助言、あつせん、指導等を行う
知事が必要に応じて意見聴取を行うための障害者差別解消調整委員会を設置
- ⑤ 職員対応要領の制定
県が事務事業を行うに当たり、障害を理由とする差別の禁止に関して職員が遵守すべき要領の策定を地方公営企業も含めて義務付け、その遵守を規定

静岡県におけるユニバーサルデザインの推進

1 要 旨

住む人も訪れる人も快適に安心して過ごせる地域づくりを進めるため、令和3年度に策定した「第6次ふじのくにユニバーサルデザイン推進計画」（令和4年度から令和7年度）に基づき、ユニバーサルデザインの理念普及や、県民の理解向上に努めている。

2 概 要

(1) 第6次ふじのくにユニバーサルデザイン推進計画の施策体系

区分	施策体系
[ハート] 誰もが思いやりをもった共生社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが実践できる人づくり ・すべての人が社会参加できる土壌づくり
[ソフト] 誰もが利用しやすいサービス・情報や製品の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしを豊かにするサービス・情報の提供 ・利用しやすい行政サービス・情報の提供 ・使いやすく魅力あるものづくり
[ハード] 誰もが暮らしやすいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすく配慮された施設等の整備 ・円滑に移動できる道路や交通機関の整備

(2) ユニバーサルデザインの理念普及の取組（ハート分野）

区分	内容
講座開催	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザイン出前講座 ユニバーサルデザインの理念普及や本県における取組等に対する理解を深めるため、小・中学校や高校、団体等へ出向いて出前講座を実施 ○心のUDプラス実践講座 困っている人に声をかけ、サポートできる人を増やすため、企業・団体や県職員を対象に、様々な人への配慮や対応方法を想定した実技講座を開催
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○SNSを活用した情報発信 ユニバーサルデザインに関心が高い学生を特派員として委嘱し、学生の視点からユニバーサルデザインの取組事例を取材・情報発信 ○企業・団体との協働による広報・啓発 静岡県印刷工業組合が主催する「メディア・ユニバーサル・デザイン・デザインコンテスト」の受賞者を学生特派員がインタビューするYoutube動画を作成、公開
普及啓発	○自らが実践しているUDの宣言の募集等

(3) 具体的な取組事例（ハード、ソフト分野）

・歩行空間の整備

本県では、高齢者、車いす利用者など、様々な人のニーズに対応した歩道整備や無電柱化等により歩きやすい歩行区間の確保を行っている。

・道路標識など公共サインの改善

本県では、目的地へ円滑な誘導を行うため、案内の統一性及び連続性及び多言語表記を充実させ、分かりやすい道路案内標識の整備を行っている。

県内鉄道駅のバリアフリー化に向けた取組

○概要

岐阜県鉄道駅バリアフリー化施設改善事業費補助金

バリアフリー化事業への支援を行う市町村に対し、財政負担を軽減する補助を行うことで、鉄道駅バリアフリー化を促進する

○補助対象

鉄道事業者が行うバリアフリー事業に対して補助をする市町村

※基本構想に基づき、鉄道事業者が行うものであること

※国庫補助金の交付を受ける事業に対する補助であること

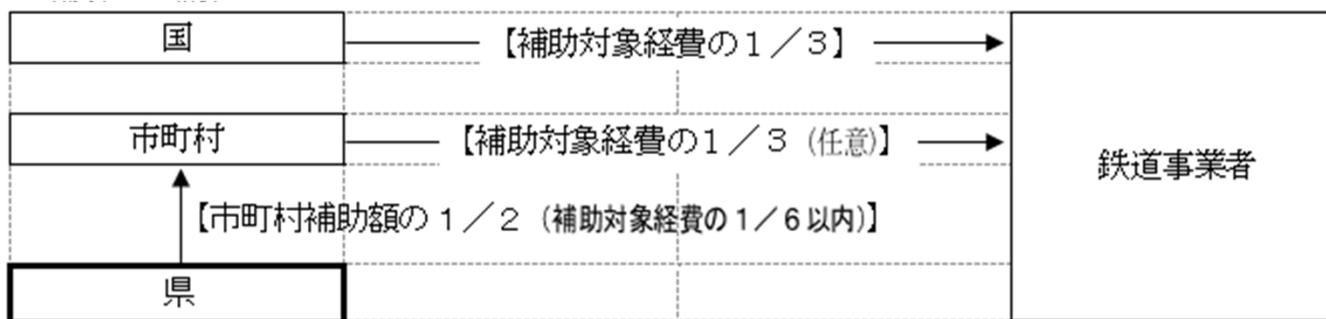
○補助率

鉄道事業者 1/3	国 1/3	市町村 1/3 (補助率任意)
--------------	----------	--------------------



※補助対象経費の1/6以内

○補助の流れ



○直近の実績

- ・整備駅 : J R岐阜駅 エレベーター整備 (3基)
- ・事業期間 : H30年度～R5年度
- ・補助額 : 260,842千円 (H30～R5までの合計)

三重県

地域鉄道事業者による障がい者割引 I Cカード導入への支援

障がい者割引 I Cカード

- ・ 本人確認と障害者手帳確認手続きを事前登録することで、自動的に障がい者割引が適用される
- ・ 障がいのある利用者にとって「バリア」であった乗車ごとの確認手続きが省略され、利便性が高まる

支援の概要

- 補助対象事業者 : 地域鉄道事業者 (中小民鉄、第3セクター鉄道)
- 補助率 : 国 1 / 3、県 1 / 6、市・町 1 / 6
- 補助実績 : 令和5年度 伊賀鉄道伊賀線 (伊賀市)
令和6年度 三岐鉄道北勢線 (三岐鉄道株式会社)
令和7年度 あすなろう鉄道内部線・八王子線 (四日市市)

備考

- ・ 各事業者は接続する近鉄、J R西日本で採用されているスルツとKANSAI協議会発行の「特別割引用 I Cカード」を導入
- ・ 上記カードは関西を中心に60以上の鉄道・バス事業者で利用可能
- ・ ただし、第1種の障がい者が介護者同伴の場合の利用が対象であり、伊賀鉄道など多くの第3セクター鉄道で制度化されている100km以下の単独利用や、第2種の障がい者の割引には対応していない
- ・ 伊賀鉄道では、「特別割引用 I Cカード」発行の対象外となる障がい者について、I C O C Aカードの利用履歴により、後日まとめて割引分を還付可能とする措置をとっている

おもてなしバリアフリー・合理的配慮推進事業

現状と課題

- 北陸新幹線開業や障害者差別解消法の改正に伴う民間事業者の合理的配慮提供義務化を見据え、民間事業者の**バリアフリー環境整備と合理的配慮体制**の構築が必要
- タウンミーティング（＝県民との意見交換会）において、当事者からはトイレ（洋式化、多機能化）や駐車場、スロープ、手すり等の整備促進を求める声が多い一方、**事業者はバリアフリー化の資金不足が課題**



「合理的配慮」の精神のもと、全ての県民および来県者が快適に過ごせるようハード&ソフト面からのバリアフリー化を推進

整備方針

- 対象施設 不特定多数が利用する民間施設
医療施設、社会福祉設、商業施設、娯楽施設、文化施設、体育施設、宿泊施設、教育施設、公共交通機関施設、興行・展示施設、環境衛生施設（公衆浴場等）、駐車施設、公共事業施設、（郵便局、ガス、電気等）、金融施設
- 支援内容
 - ①工事施工：出入口・廊下の拡張、スロープ・手すりの設置、点字ブロックの敷設、障がい者用駐車場の整備、トイレの拡張・多機能化 など
 - ②物品購入等：貸出用車いす、簡易スロープ、筆談ボードやコミュニケーションボード、点字や音声コードを用いたメニュー等の作成 など
- 補助金額

①+②：ハードとソフト両面を行う場合	補助率 1 / 2（500千円上限）
②のみ：ソフト整備のみ行う場合	補助率 1 / 3（50千円上限）

名古屋市のバリアフリーにかかる主な取組み

① 福祉都市環境整備の推進

- ・本市が整備及び設置する施設等のバリアフリー化を推進するため、「福祉都市環境整備指針」を策定し、指針に基づき整備を実施（指針ではバリアフリー法及び愛知県人にやさしい街づくりの推進に関する条例よりも厳しい技術的基準を設定）（平成3年策定、直近では、平成29年3月全面改定、令和4年3月一部改定）
- ・年に2回、「福祉のまちづくり推進会議」を開催し、本市の福祉環境整備事業の進捗状況等の情報共有と必要な協議を実施



② バリアフリー基本構想

- ・金山駅地区(平成15年)、名古屋駅地区(平成16年)、栄・久屋大通駅地区(平成18年)に交通バリアフリー基本構想、大曾根駅地区(平成21年)にバリアフリー基本構想を策定
- ・令和4年11月、瑞穂公園陸上競技場地区バリアフリー基本構想を策定

③ 民間鉄道駅舎のバリアフリー整備補助

- ・国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、乗降客数3,000人以上の民間鉄道駅舎へのエレベーターやバリアフリートイレ等の設置について、費用の一部を補助
- ・また、乗降客数10万人以上の民間鉄道駅舎へのホームドア等の設置について、費用の一部を補助
- ・【補助率】 補助対象経費の1/3以内
- ・【実績】 令和6年度末累計 56駅（段差解消済みの駅舎数）
進捗率（目標達成率） 94.9%（56駅/59駅）
※令和7年度より名鉄森下駅の整備を開始予定

④ ユニバーサルデザインタクシーの導入補助

- ・国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、障害者のほか、高齢者や妊産婦、子ども連れの人など、すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインタクシーの導入を促進するため、費用の一部を補助
- ・【補助額】 1台あたり20万円
- ・【実績】 令和6年度補助台数 132台
法人タクシー（福祉車両を除く）に占めるUDタクシーの割合 42.9%

⑤ 名古屋バリアフリー情報発信サイトの開設・運営

- ・市内のまちの施設や店舗等のバリアフリー情報を発信するホームページ「なごやバリアフリーお出かけナビ」を開設（令和5年3月）
- ・市内の宿泊施設、観光施設、飲食店等を対象施設とする予定であり、現在拡大中

⑥ バリアフリー整備相談支援事業の開始

- ・障害者や高齢者をはじめ配慮を必要とする当事者が市が行う施設整備に参画する場を設けることで、事業者や行政では気づけない使いやすさ等のニーズを施設整備へ反映させ、バリアフリーのまちづくりにつながる取組みを開始（令和7年度事業開始予定）

⑦ 意識のバリアフリーの推進

- ・市職員・市民・事業者が、障害及び障害のある人への理解を深めるとともに、社会にある障壁（バリア）を取り除くための配慮やサポート方法を学ぶことができるよう、「ナゴヤあいサポート事業」（令和6年10月開始）等を実施

・【実績】

令和6年度	あいサポーター養成研修実施	49回
	あいサポーター認定	3,218人
	あいサポートキッズ向け研修実施	21回
	あいサポートキッズ認定	1,209人
	あいサポート企業・団体認定	9件



取組や事例の内容

○鉄道駅のバリアフリー化

・鉄道駅などの利用者の多い施設に対し、バリアフリー化や安全対策を推進する

- ・1日あたりの平均利用者数3,000人以上の駅
- ・1日あたりの平均利用者数2,000人以上3,000人未満でバリアフリー基本構想に位置付けられている駅

※国の基本方針

(補助対象経費)

・スロープ設置や多機能トイレなどバリアフリー化に要する費用
(補助率):対象事業費の1/3 (国1/3、事業者1/3)

施工例(静岡市総合交通計画より)



課題・取組実績

鉄道路線名	対象駅数	完了駅数
JR東海道本線	9駅	9/9駅(事業完了)
静岡鉄道 静岡清水線	10駅	5/10駅

【苦慮した点】

- ・鉄道事業者との調整
⇒事業者主体の工事であるため、各調整が必須

【今後の課題】

- ・多数の制約がある工事の施工
⇒もともと、小規模な鉄道として建設された経緯があり、構造上の制約がある駅が多数
- ・事業費(工事費)の増額
⇒物価高騰および人件費上昇により、工事費が増加

【課題】

- ・高齢者や障がい者の移動が円滑にできない街
⇒移動機会の損失
⇒住みやすさの低下



【成果】

- ・バリアフリー化の促進により、高齢者や障がい者のみならず、移動円滑化を図ることに繋がる。
⇒市の魅力が向上



施工実績①:古庄駅 駅舎



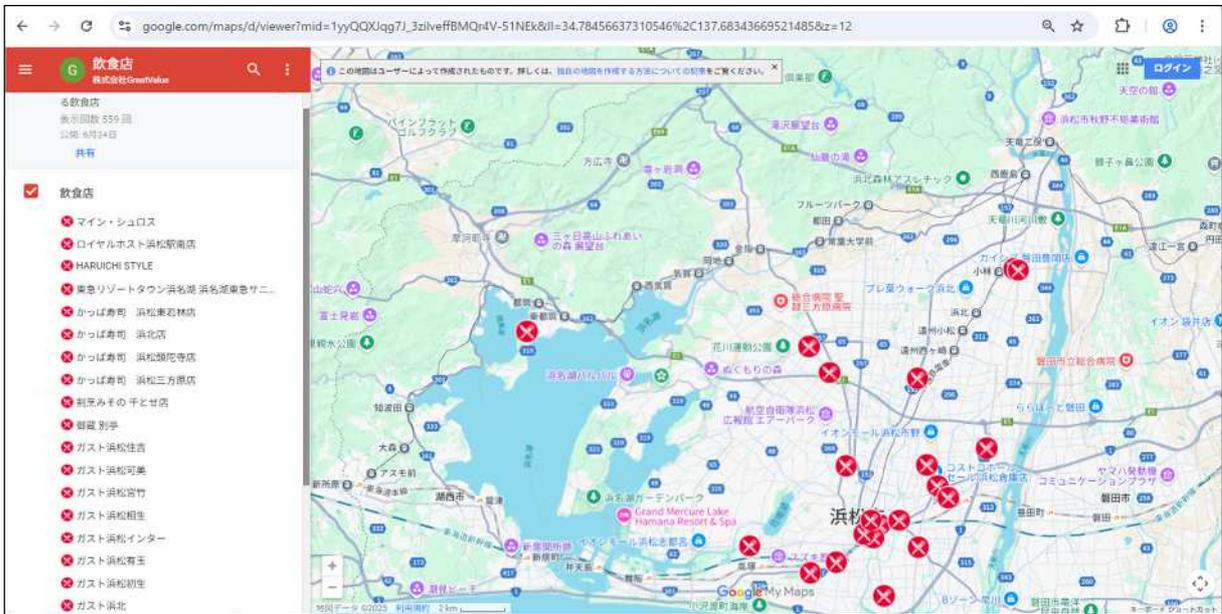
施工実績②:古庄駅 乗降ホーム

浜松ユニバーサルデザインマップ(hamamatsumap.com)について

- ・障がい者や高齢者、妊婦、子育て世代の方、観光客等に対して、訪問先のバリアフリー(ユニバーサルデザイン)情報を提供するためのマップを実証実験にて作成中
- ・場所から、用途から、施設のジャンルからの検索が可能
- ・施設運営者、市民(施設利用者等)から情報提供を行うことが可能

用途別で探す	ジャンル別で探す	情報提供に協力する
 <p>おもいやり駐車場、身障者用駐車場、ゆずりあい駐車場、エレベーター、車いすでの施設利用、車いす貸出し、多機能トイレ、オストメイト対応設備、子ども用おむつ替えシート、ベビーチェア、子ども用トイレ、介助用ベッド、ベビーケアルーム、授乳室、男性が利用可能な授乳室、ベビーカー貸出し、託児所、英語対応、ポルトガル語対応、中国語対応、韓国語対応、その他対応可能な言語、手話対応、礼拝室、着替えスペース、AED、無料Wi-Fi など</p>	 <p>市の施設や飲食店、スーパー、駅など、ジャンルから探すことができます。</p>	 <p>様々な取り組みをしている施設やお店などをぜひ教えてください。</p> <p>投稿した情報が掲載されるとポイントをプレゼントします。</p>

マップの例(飲食店)



情報提供に対するインセンティブ

